

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第126号

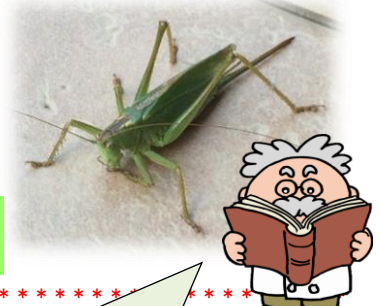
平成30年7月25日発行  
事務局：県立青少年センター  
科学部 科学支援課  
電話：045-263-4470

## 夏休み突入！科学体験メジロ押し

今年の夏は、太平洋側からの暑い空気と、大陸側からの暑い空気がダブルで日本列島上空を覆っているということで、連日猛暑のニュース続きです。そして、県内の多くの小中学校はいよいよ7月21日から夏休みに突入です。事務局をはじめ、会員の皆さんの施設でも、子供たちを対象とした科学体験の行事がめメジロ押しの季節となりました。

「科学体験の夏」が今年も始まりました！

夏は色々な昆虫が観察できます。  
この体長5cmほどの昆虫は？ →  
キリギリスです。(事務局撮影)



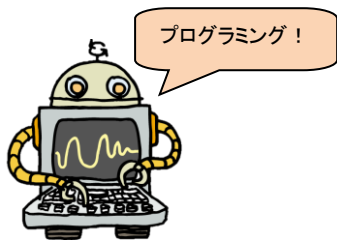
インソップ童話の「アリとキリギリス」の原典は「アリとセミ」だったとか。

### 夏休み初日①：ロボットプログラム

「ロボットプログラム」は、コンピュータを使って、ロボットのプログラミングを体験し、楽しみながら課題にチャレンジする講座です。

この講座は青少年センターで以前から実施されてきましたが、小学校の新学習指導要領にも「プログラミング教育」が登場し、今、注目かつ大人気の講座です。

青少年センターでは、初級、中級、上級の3種類の講座を合計で年間14回実施します。



| [初級] ロボットプログラム  | [中級] ロボットプログラム  |
|---|---|
| 7月21日(土)9:30~11:30  | 7月21日(土)13:30~15:30   |
|   |   |
|   |   |
| <p>今年度の上半期、最後の初級講座でした。プログラミングの基礎を学び、一つ一つ命令をコンピュータに入力し、ロボットの動きを確認しました。</p> | <p>初級ロボットプログラムを修了した小学3~6年生が対象です。初級の講座で学んだことを踏まえ、さらに別のセンサーをロボットに搭載させ、複雑な動きに挑戦しました。</p> |

### 科学の話題 Science Topic 「野菜の花」

(写真:事務局撮影)

夏野菜がおいしい季節です。夏野菜カレーとか、いいですね。…というわけで今年も「野菜の花」問題です。右の写真は、何の野菜の花でしょうか？

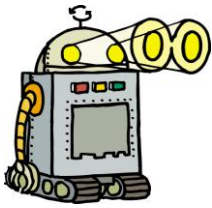
- 左：全体で数cmほどの白い花
- 中：直径10cmほどの黄色い花
- 右：3cmほどの紫色の花



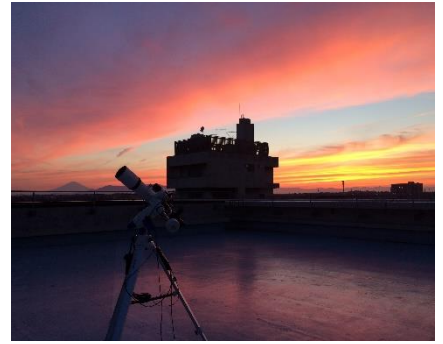
【正解】は裏面



## 夏休み初日②：星空教室

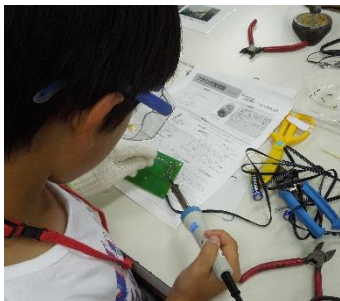


協議会ニュース124号で特集したとおり、今年は15年ぶりの「火星大接近」です。最接近は7月31日ですが、そのちょうど10日前となる7月21日(土)に、青少年センターで星空教室が行われました。この時期、火星は夜中にならないと高く昇らないので、星空教室の時間帯には観測できませんでしたが、木星や土星や月を観測することができました。火星の観測は8～9月がベストのようです。



これら2枚の写真は、前回6月23日(土)のものです。  
【写真左】月齢9の月(スマートフォンを望遠鏡に接着させて撮影)  
【写真右】望遠鏡の準備中。夕焼けがきれいでした。奥に富士山。

## 夏休み2日目：プチロボで競走しよう [伊勢原大会]



この講座は小学校の3～6年生が対象ですが、ハンダ付け作業を伴う本格的な作業を行います。(各回、定員24人)

午前中に、モーターを4個搭載した四輪ロボットをスタッフの指導により各自で作成します。そして午後、青少年センター科学部の公式コースを用いて、自分が作成したロボットを操縦し、タイムレースを行います。予選を通過した8人で決勝レースを行います。

年間で、県内各地13回の開催を予定しています。



### 科学の話題 Science Topic 「野菜の花」

【正解】

左：ニンジン

中：カボチャ

右：ナス

(写真:事務局撮影)

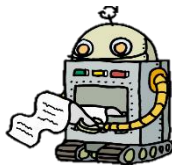


自宅の周囲や徒歩圏内に畑が無いと、野菜の花を見る機会はなかなか無いものです。今の子ども達はどうでしょうか？

## 事務局から

今年の7月上旬の西日本を中心とした豪雨で最も大きな被害を受けた広島県。その県立高校の校長先生(事務局 村上の知り合いです)から、7月14日にメールが届きました。その一部を紹介します。

「この度の豪雨災害に当たり、多くの皆様からご心配をいただき感謝しています。本校も自宅も直接の被害はありませんでした。ただ、この地域の上水道取水施設が冠水により7月7日以降断水が続いています。学校は、受水槽があり飲み水は確保できる状況ですが、トイレ用の水の使用を制限かけているところです。自宅では、当初は水の確保に3時間程度並ぶなど苦労していましたが、他県からの応援や自衛隊の応援でだいぶ楽になってきました。学校は、土砂崩れによる道路の寸断やJR山陽本線の不通区間があり、7月17日まで休校としています。やっと断水復旧(19日予定)、交通機関復旧(18日予定)のめどがつかってきたので、18日には学



校の再開ができそうです。生徒は3人が床上浸水の被害を受けており制服や教材などの支援を準備中です。生徒の心のケアを考えて、出て来られる生徒は、学校を開放し、登校して自習や部活動を行ってもよいことにしています。節水のためトイレの水は校内の井戸水を準備して、バケツで流すようにしています。職員も断水の家庭が多く、特に女性の職員が家事等を含め疲れた様子ですので、定時退校をさせるとともに、年休等を取らせています。復旧のめどが立ってきたのでもう少しの辛抱。頑張ります。ご心配いただきありがとうございました。」

神奈川の県庁所在地、横浜市は、今後30年以内に震度6弱以上の強い地震が来る確率が82%で、全国2位の高率です(H30.6.26発表)。他人ごととは思えない気持ちでこのメールを読みました。

(事務局：村上、高相、山田、宮城)

